

2010年(平成22年)4月16日(金曜日)

「出来る限りのことを」

AMD A調整員中国へ出発

国際医療NGO「AMD A(アムダ)」(本部・岡山市北区)のヴィーラバグ・ニティアン調整員(41)が15日、中国西部・青海省の玉樹チベット族自治州玉樹県で起きた大地震で求められる医療支援を把握するため、同省に隣接する四川省の省都・成都に向けてJR岡山駅を出発した。16日に関西空港から中国に渡る。

アムダによると、氷点下の冷え込みのなか、被災者の国際医療NGO「AMD A」はテント暮らしを余儀なくされているといい、「出来る限りの支援をしたい」と早期の派遣を決めた。成都にある医療機関「四川省中医学科学院」などから情報を収集。期間は未定で、正確な情報が得られなければ長期に及ぶ可能性もある。

アムダは2008年に起こった四川大地震で同学院と協力して活動、同地震後に災害時の協力協定を結んでいる。